



オムライス街道10周年キックオフイベント



ひだか 議会だより

HIDAKA GIKAI DAYORI

第191号
令和5年7月31日

***特集 完成する新日下川放水路に期待する声**.....16P~19P

一般質問に7氏が立つ.....7~13P

いきいきインタビュー.....14P

各種団体と意見交換会.....15P

議会日誌.....20P

トピックス.....21P

編集後記.....22P

行政報告(要旨)



戸梶眞幸村長

新型コロナウイルス ワクチン接種

新型コロナウイルス ワクチンの集団接種は、65歳以上及び基礎疾患がある方、医療従事者や高齢者施設従事者を対象として6月に4日間実施する。

総合健診について

総合健診は、5月17日から22日までのうち5月20日を除いた5日間実施し、受診者580人、受診率41・2%となった。秋に再度総合健診を実施するので、受診率は上がると思われる。

また今回の健診には、骨密度測定機器「骨ウエーブ」を国保連合会からお借りし



「chiica」へ地域通貨ポイントを付与し地域で活用

て、5日間で356人が実施した。

低所得者へ生活支援

エネルギー・食料品等の価格高騰の影響により、負担が増大している低所得者へ住民税非課税世帯生活支援給付金事業を行う。

1世帯当たり3万円の現金給付支援を、8月中旬から10月下旬まで実施する。

地域通貨ポイント付与事業

地域で活用できるポイントを発行し、消費の下支え等を通じた生活者支援を図

る地域通貨ポイント付与事業を行う。地域ポイント給付支援を7月から12月まで実施し、給

付対象数及び付与ポイントは、令和3年度から令和4年度に実施のデジタル化促進事業実績者数1千200人を対象に5千ポイントを、また、令和5年8月から11月に新規デジタル化申請見込者数560人を対象に1万ポイントの給付を行う。

子育て世帯へ生活支援

食費等の物価高騰に直面し、影響を特に受けるひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯へ、子育て世帯生活支援特別給付金を、児童1人当たり5万円の支給を実施する。

給食費の保護者負担軽減

村立小中学校及び加茂小中学校の日高村在住の児童生徒について、昨年度に引き続き、給食費の値上げをせず、保護者の負担軽減を図っていく。

能津地域優良住宅入居者募集

能津地域優良住宅「のう



7戸のうち6戸の入居者が決まった「のうづ夢団地」

づ夢団地」において、4月から入居者募集を行い、7戸の入居募集に対し、9世帯の応募があり、入居資格を満たした6世帯が、契約手続きなどを行っている。残り1戸は、当初選定した入居予定者が入居を辞退したため、6月19日まで再募集をする。現在、保育園児7人・小学生1人、合計8人のお子さんが増え、子育て世帯の人口増の事業目標は達成できたと考えている。

新日下川放水路 本格運用

新日下川放水路の本格運用が、6月1日から始まり、早速、台風2号の影響を受けた豪雨に対し、安全に通水することができた。広大な呑口から、2本の放水路に流れ込む状態を目の当たりにして、今までにない、大きな安心を感じた。



運用を始めた新日下川放水路の状況(台風2号の影響による豪雨)

平成26年8月の12号台風による記録的な大雨災害を受けて、平成30年4月から着手し、多くの方々にご尽力いただき、運用を迎えることができたことに、心より感謝申し上げます。これも、下流域の皆様方のご理解、ご協力をいただいたことで事業が進み、重ねて感謝申し上げます。

本格運用前に イベントを実施

新日下川放水路の運用前に、いの町をはじめとする下流域の方々への見学会のほか、「放水路タークキャンプ」と題して、トンネル本坑にテントを設営して宿泊するなど、3月から50人以上がこの放水路に訪れた。



放水路タークキャンプ
トンネルで宿泊体験を行った

脱炭素先行地域に 選定される

4月28日、環境省より第3回脱炭素先行地域に、全国で16件が新たに選定された。

日高村、須崎市、J A土佐くろしお、高知銀行と自治体新電力会社「高知ニューエナジー(株)」の共同提案による、「両市村の特産農産物施設園芸の脱



第3回脱炭素先行地域選定証授与式

炭素化、付加価値向上と地域連携型の再生可能エネルギーの拡大、災害時のリスク回避・危機的状況の回避能力強化の実現を目指した地域づくりを進める取り組みが評価され採択された。

今後は、住民、企業、団体などの協力のもと、再生可能エネルギーの導入に向けたトマト団地熱供給事業の詳細設計など、具体的な取り組みを進める。

令和5年第2回定例会

審議したこと 決まったこと

R5.6.8~6.15

6月議会では、承認4件、同意(人事)1件、条例関係2件、予算関係3件、その他1件、議員提出議案2件、計13件と陳情2件の合計15件が決まった。

人事

◎固定資産評価審査委員会委員に富田輝明氏を選任することに同意した。



富田 輝明 氏

住所 日高村宮谷
任期 令和5年6月25日から令和8年6月24日

承認

◎専決処分の承認を求めることについて（令和5年度日高村一般会計補正予算（第1号））

質疑

問 庁舎建設工事に伴う周辺家屋の事後調査は、い

つの完成を見込んでいるか。
答 8月末を工期としている。

問 地元としては、なるべく早く結論をという強い希望もある。なるだけ早い結論を。
答 順次、調査に入っている。中間報告を受け、進めている。

条例

◎日高村錦山満天星キャンプ場設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

質疑

問 1泊のキャンプができることは非常に良いが、利用者の中で、そういうニーズがあったからか。
答 夜間に利用したら集客率が上がるのではないかというご意見があった。

第2回定例会議案・発議案と賛否

○：賛成 ●：反対

議案・発議案		議員名										議決結果	
		西村玲子	大川内慎治	山中鶴幸	藤原利彦	森下芳文	横山泰昌	野村重夫	森下雅文	池田雄	尾崎政廣		
人事	固定資産評価審査委員会委員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	同意
専決処分	村税条例、一般会計（2件）、国保	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	承認
条例など	村税条例、満天星キャンプ場設備及び管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
補正予算	一般会計、国保、介護保険	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
その他	公の施設の指定管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
陳情	物価高騰に見合う生活保護基準の引き上げの陳情 最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	採択
意見書	物価高騰に見合う生活保護基準の引き上げを求める意見書 最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決

閉会中の委員会活動報告

総務常任委員会



委員長 藤原利彦

5月30日(火)午後1時30分より

森下教育次長

第42回日高ちびっこ祭りを4年ぶりに未就学児が一堂に集まるイベントを開催した。当日は親子で踊りや歌を楽しみ、プロによる人形劇も鑑賞した。

松岡総務課長

4月23日に日高村自治会長会総会及び行政連絡会を開催した。

庁舎建設に伴う事後調査は、ほぼ予定どおりに調査

に入っている。

谷脇総務課参事

5月21日にいの町波川で水難救助合同訓練を行った。

山崎企画課長

村の補助金「光り輝く子育て応援金」は総数47件の申請を見込んでいる。日高村補助金は1件9万円を決定した。

新婚生活支援事業費は2件の予算を確保している。

今井住民課長

マイナンバー交付実績は4月末時点で3千370件となっており、交付率は68・9%、全国の交付率は69・8%である。

経済建設厚生

常任委員会



委員長 大川内慎治

5月29日(月)午前9時30分より

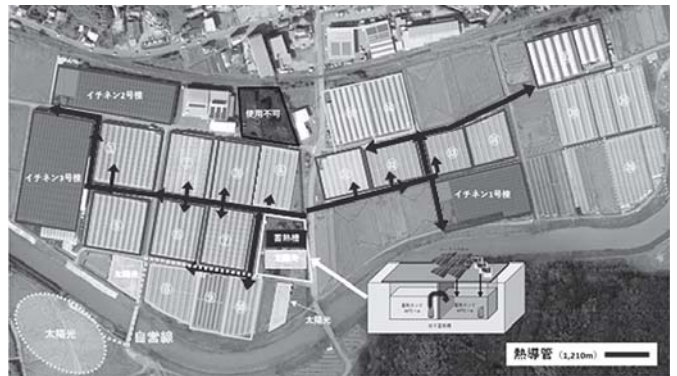
前田建設課長

改良住宅の建て替えについては、当初計画どおり本年度中には、実施方針を示し応募・工事着手にかけられるよう進めていく。

新日下川放水路については、6月1日から運用開始となるが、完成式については出水期の10月以降になる予定である。

松本産業環境課長

脱炭素先行地域づくり事



脱炭素先行地域づくり事業 トマト農業ハウス団地の概要

業については、事業年度が令和5年度から令和9年度の5カ年で、事業概要は、①トマト農業ハウス団地周辺の遊休農地等に太陽光発電・蓄電池を設置し製造した温水を熱導管を通じてハウスへ供給することにより重油からの燃料転嫁を進める。②西田・西ノ越の村営住宅への太陽光発電設備の設置。③役場庁舎や下分ふれあいプラザ等の屋根及び職員駐車場等の公共施設群への太陽光発電設備の設置となっている。



自治会長会総会終了後、行政連絡会を開催

日高村振興対策
特別委員会



委員長 池田 雄

5月29日(月)午前11時よ

り
前田建設課長

県道庄田伊野線の改良については、柱谷における橋梁を含め8カ所が供用済、登記困難2カ所、用地交渉めどなし4カ所となっている。新規要望箇所として名越屋沈下橋下流の拡幅工事が進行している。

また、能津地区地域優良賃貸住宅はほぼ完成し、県内5組、6世帯で19人、うち子ども8人で、入居希望日などを確認中。

能津夢団地については、払い下げを行う方向で調整中。

山崎企画課長

一般社団法人能津未来について、5月21日に社員総会が開催され、初めて173万円の純利益が計上された。錦山満天星キャンプ場管理運営業務を一般社団法人能津未来と契約した。バーチャルスローパーを整備し、能津マートに設置する。

日高村治水対策
特別委員会



委員長 森下雅文

5月30日(火)午後3時よ

り
西村治水対策室長

治水対策室の報告を受けた。

1. 会議・要望等17件の概要の説明を受けた。

2. 床上浸水対策事業の報告があった。

①放水路呑口側導水路は予定どおり完成または施工中。

②呑口側固定堰を当初予定より50cmかさ上げる。現在のゴム堰は当面残す。

③管理道路整備工事本坑、作業坑共に完成。

④吐け口側工事はトンネル内部がすべて完了。

3. 日下川下流域工事進捗の報告を受けた。

4. 緊急自然災害防止対策工事の報告を受けた。

①JR日下岡花間鉄道下排水路工事が終了。

②竜石地区排水路護岸工事は概ね終了。

5. 新日下川放水路の運用開始の報告があった。

6. 木の駅ひだか隣接地1千430㎡の宅地開発申請があり許可の報告を受けた。

日高村議会改革
特別委員会



委員長 池田 雄

4月5日の会議では、議員報酬に関する報告書について検討をした結果、村の条例に従って参考人制度を活用することを確認した。

4月18日には、5人の参事から意見を聴取した。

4月27日に全員協議会を開催し、全議員が確認し、議員報酬に関する報告書を議長に提出した。

4月28日に、議長より村長に要望書が提出された。



J R 日下岡花間鉄道下排水路工事

日高村2050ゼロカーボンシティ宣言



大川内慎治議員

質問 目標達成に向けた決意は。

答弁 戸梶村長

持続可能な村づくりや豊かな自然環境を次世代に引き継ぐため、太陽光発電などの再生可能エネルギー等を最大限活用する。今回採択された「脱炭素先行地域づくり事業」については、自治体の新電力の高知ニューエナジー(株)との協力や村民・事業所の理解協力が必要であり、丁寧に説明を尽くし、村のためになる計画実現を目指す。

質問 村民の協力を得るための施策は。

答弁 戸梶村長

村民にメリットを感じてもらえる施策として、村民の電気料金を安くできる仕組みづくりができないか検討する。

質問 自伐型林業を推進する考えは。

答弁 松本産業環境課長

森林の多面的機能の維持・増進につながるため、林業の担い手を増やしていきたいと考えている。環境保全と生業づくりを両立させる小さな林業である自伐型林業の推進と啓発を図ることも重要であると考え取り組んでいる。

質問 「脱炭素先行地域づくり事業」関係者への丁寧な説明を。

防犯灯のLED化

質問 補助をもらって設置したLED防犯灯の交換にも補助を。

答弁 松本産業環境課長

事業採択を受け、より具体的な内容の説明をする準備を進めており、毎月のトマト出荷部会の方などで、丁寧に説明を重ねていく。

答弁 谷脇総務課参事

早くからLEDの防犯灯に交換された物については、順次、寿命による交換が必要になってくると思われるので、補助対象となるよう要綱の見直しを検討する。

村の入札制度の見直し

質問 総合評価方式導入の評価は。

答弁 松岡総務課長

総合評価方式を用いた入札件数は16件で、落札率は平均で89・3%、くじ引きでの決定が1件となっている。順調に行われており、今後も継続していきたいと考えている。

質問 総合評価方式に工事成績評定を。

答弁 松岡総務課長

工事成績評定が実施されれば、総合評価方式の精度を上げるための要因の1つとなると考えられる。評価の実績を検証し、学識経験者の意見を聞き検討する。



脱炭素化に向け活用が見込まれるトマト農業ハウス団地周辺の遊休農地

高齢者の 経済的負担の軽減策を



西村玲子議員

質問 身体機能の低下や疾病、けがなどによって排泄のサポートが必要の方がいる。

紙おむつも長期間になると経済的負担増となると補助制度を導入している自治体も増えている。日高村での導入は。

答弁 藤岡健康福祉課長 現在、村の紙おむつに対する補助制度はない。今後、村の現状や実施市町村の状況を調査する。

おくやみ窓口の開設でスムーズな申請支援を

質問 死亡等に関する各種手続きをワンストップで受け付け、スムーズな申請を支援する窓口を、ご遺族の負担軽減のためにも開設を。

答弁 今井住民課長 お悔やみ窓口に近い窓口対応となっている。



スムーズに申請できるよう支援する役場窓口

村デジタル推進を進めている現状なので、必要事項を印字した申請書を利用し、スムーズな申請を支援するよう配慮している。

致命傷から大切な命を守るヘルメットの補助金制度の創設を

質問 本年4月、道路交通法が改正され、自転車利用時ヘルメットの着用が努力義務となった。未着用者は、着用者と比べて致死率は2.2倍と高い。高校生、保育園児、村民に、補助金制度の創設を。



自転車を利用時は大切な命を守るヘルメットを着用する

答弁 森下教育次長 保育園の年長児への購入費の補助はしている。

答弁 谷脇総務課参事 いまのところ、助成の実施は考えていない。大切な命を守る意識を、皆様にとっていただき着用をお願いしたい。

感震ブレイカーの無料配布について

質問 地震など設定以上の揺れを感じて、自動的に

に電気の供給を遮断し、電気出火を防ぐ効果的な器具。

各家庭に設置することで出火を防止し、住宅や山林等への延焼を防ぎ、大規模地震等による被害の軽減と生命を守るためにも、重要な取り組みと考えている。

答弁 谷脇総務課参事 通電火災を防ぐためにも必要と考える。助成方法等を含め、今年度中に要綱の整理を行い実施に向け検討していく。

能津夢団地の払い下げ



池田 雄議員

質問 能津夢団地の払い下げについて。

答弁 前田建設課長
メリットが上回ると考えている。内容を整理した上で、払い下げを前提とした交渉を実施したい。

新型コロナ

質問 新型コロナウイルスの扱いが5類となった。診察は各医療機関の判断となったが、日高村の状況は。

答弁 藤岡健康福祉課長
日高クリニックでは、5月8日から感染症の診察ができることを確認している。

質問 検査費用や初診時の自己負担額について。

答弁 藤岡健康福祉課長
保健医療で窓口負担3割の場合、検査料等で最大4千170円となる。

質問 本年度のワクチン接種の計画は。

答弁 藤岡健康福祉課長
65歳以上及び基礎疾患のある方、医療従事者等を対象に6月10日、11日、17日、18日、その他の方は秋ごろに実施する。全額公費負担となる。

錦山公園

トイレの洋式化

質問 錦山公園でのイベント等が有料となる。錦山



洋式化を望む錦山公園トイレ

公園のトイレを洋式化にする必要があると考えるが。

答弁 松本産業環境課長
財政当局に対して、早めの洋式化を求めていく。

能津地域優良賃貸住宅応募状況

質問 能津地域優良賃貸住宅について、応募状況は。

答弁 前田建設課長
7世帯が決定していたが、1世帯辞退した結果大人11人、子ども8人となっている。

マイナンバーカード

質問 マイナンバーカードの不具合が報じられているが、日高村の実態は。

答弁 今井住民課長
現時点では不具合についての報告はない。

質問 マイナンバーカードの今後の方向性について。

答弁 今井住民課長
引越しに関する転入転出の手続きや所得税の確定申告、薬剤や検診、母子健康手帳等の自己情報の閲覧など各種サービスの

の利用が可能となる。

高知西バイパス延伸

質問 高知西バイパスの延伸について、次回の四国地方小委員会で概略ルートが決まれば、事業化に向けて動き出す、という情報があるが。

答弁 前田建設課長
その情報は確認している。

村行政の成果と課題は

質問 これまでの村行政の成果と課題は。

答弁 戸梶村長
知名度が向上したこと、IT環境が改善されたこと、治水安全度が向上したこと、高知市へのアクセス道路が向上したことが成果といえる。

課題としては少子高齢化人口の減少率が低くて、過疎債が使えないことが財政運営上支障になっていることなど、課題が解決すると、次の課題が見えてくる。行政とはそういうものだと思う。

脱炭素

先行づくり事業



藤原利彦議員

質問 全国で100のモデル事業の中に、日高村と須崎市の共同提案である高知ニューエナジー(株)の事業計画が選定された。予算規模、完成時期は。

答弁 松本産業環境課長
申請時ベースで補助額48億円、3分の2の補助率が基本となり、事業費は70億円以上という大きな事業になっている。今後できる設計の事業内容により、須崎市との配分額が決まる。
完成時期は5年間の事業となり、令和9年度の完成となる。

太陽光発電パネルの廃棄問題

質問 太陽光パネルの製品寿命は25年から30年である。その処分について、今から考えておく必要があるのではないか。

答弁 松本産業環境課長
太陽光発電の事業採算性の中で、処理費用を見込む方針である。
20から30年経過すると発電量が2〜3割低下する。低下しても発電可能であれば継続利用するが、使えないとなれば、リサイクルが可能か、それができなければ最終処分の判断をする。



20年から30年後には大量のパネル廃棄問題が起ることが予想できる

農業経営に対する補助金

質問 6月から電気代が大幅に上がる。農業経営体にとっては、ますます苦しい経営になるが、補助金は出せないか。

答弁 松本産業環境課長
農業事業所の経営安定及び、農地の保全を支援する目的で予算計上している。

選挙の低投票率

令和5年1月から12月までに農薬、種苗、肥料などを10万円以上購入した者に、5万円の補助を行う。法人については、100万円以上購入した法人に50万円の補助を行う。

質問 昨今の低投票率について、村長の見解を聞く。

答弁 戸梶村長
村長選挙や村議会選挙の無投票が続いている。村民が投票する機会が失われており、政治への無関心化があるのではないかと。
まず村の施策に対して批判や意見を伺いながら、政治に対する関心を高めていかなければならない。投票率が低いという危機感を持っている。

質問 厚生労働省は、6月2日に2020年の人口動態統計を公表した。1人の女性が生涯に産む子ども数の推計人数を示す合計特殊出生率は、過去最



野村重夫議員

少子化対策 出生率は過去最低

低の2005年と並ぶ1・26人で、年間出生数は77万747人で1809年の統計開始以来、初めて80万人を割った。高知県と日高村の2022年の出生数は。

答弁 今井住民課長

高知県全体で2022年の出生数が3千721人、日高村が22人となっている。

質問 婚姻数は何組か。

答弁 今井住民課長

日高村の婚姻数は59組である。高知県は、概算で2千189組となっている。

質問 いろいろ原因はあると思うが、あまりにも婚姻数が少ない。対策が必要でないか。

答弁 藤岡健康福祉課長

子どもが増えないと後の社会というのが、難しくなると考える。その1つとして結婚があるかと思う。それをツールとして婚活は必要である。

交通対策

質問 長山田の村道を通行する車が多くなって、最近、追突事故が3件起こった。人身事故は起こってないが、「追突注意」等の看板の設置をしてもらいたい。

答弁 谷脇総務課参事

交通安全対策のための看板設置や路面への表示など注意喚起になるものを、建設課と検討し対応していきたい。



通行車両が多くなった長山田の村道

質問 国道33号の大橋の橋の上にゴム板のところがある。雨の時、沖名の方に右折するバイクや自転車等が滑らない対策をしてほしい。

答弁 前田建設課長

現在、関係機関に地元の人への声は届けている。橋と橋の継ぎ合わせで、材質上、なかなかむづかしいと思うが、地域の人の不安解消に対し、どのような対策が取れるか、改めて関係機関と協議していきたい。



雨の時、ゴム板のところが滑りやすい日下大橋

新庁舎に時計を

質問 新しい庁舎に時計がほしいと、多くの皆さんから声が上がっている。ここが日高村の庁舎と分かる時計の設置を。

答弁 藤田副村長

庁舎の敷地沿いで、例えば、柱を国道側等に立てて、時計を設置する方向で検討したい。

脱炭素の全体構想は



森下芳文議員

質問 第3回脱炭素選考で地域に選定されたこのことだが、具体的な全体構想を聞く。

答弁 松本産業環境課長

令和5年度から令和9年度までの5年間で3つの事業が柱として行われる。

1つ目は、トマト農業ハウス団地周辺の事業となる。周辺の遊休農地等に設置する太陽光発電、蓄電池を設置し製造した温水を熱導管を通じてハウスへ供給する。

2つ目は、住宅エリアの事業となる。西田、西ノ越の村営住宅への太陽

光発電の設置。

3つ目は、公共施設分、役場の職員駐車場や、新庁舎、下分ふれあいプラザの屋根に太陽光パネルを設置する事業。

質問 この事業の補助率はいくらか。

答弁 松本産業環境課長

国の補助が3分の2で、3分の1が村の持ち出しになる。

「らんまん」波及効果は

質問 連ドラでにぎわっている「らんまん」の波及効果は。

答弁 松本産業環境課長
村の駅の売り上げを前年度と比較すると、3月では、売り上げで前年度比3%増。客数でも3%

増。

平日の売り上げが大きく伸びている。「らんまん」の効果と駐車場拡大によるバスの乗り入れによるものと思う。

マイナカード

質問 連日マイナカードに関するトラブルが報じられているが、村内では起こっていないので良いか。

答弁 今井住民課長

全国的に起こっている状況を把握した上で、同じことが起こらないようにできる対策があれば、やっていく。

質問 一番気遣われるのは、マイナンバーカードと保険証の紐づけである。

高知県でも保険協会の調査で、6割の機関でトラブルが発生している。中でも一番困るのは、保険証を持って行って、うまく受診できないケースだ。

答弁 今井住民課長

保険証が使えない状況になることは、あつてはならないと思う。保険証の紐づけの確認

が取れないのが現状である。

質問 具体的に今日の報道によれば、4機関で紐づけされた保険証が、有効でないことされたために10割負担をさせられた事例が出ている。

総点検が必要とも報じられているが、いったん立ち止まって、時間をかけて見直す必要は。

答弁 今井住民課長

十分な情報が把握できていないところもあるので、状況も見ながら、情報をしっかり把握して次に進みたい。

質問 5月25日高知新聞社説に「強引な普及策の副作用」と掲載されているが、村長の感想を聞く。

答弁 戸梶村長

急いだが、原因の1つと思う。システムの改修については、村もそうだが、原因究明をして早急に改善をして、住民の負担が少なくなり、業務の効率化も図れることを考えると、制度設計をしっかりとしてもらいたい。



太陽光パネルを設置予定の職員駐車場

小中学校給食の無償化を



森下雅文議員

質問 学校給食法施行70年を迎え、食育や貧困対策を念頭に無償化を検討してはどうか。

答弁 戸梶村長 子育て支援では、村独自の政策もある。財源の見通しが立てば、無償化も考えられると思う。

給付型奨学金の拡充を

質問 政府の給付型奨学金の拡充が見通せない今、村独自に給付型奨学金の導入や、返済支援を検討しては。

答弁 吉岡教育長 給付型に換えていきたいが、恒久的な財源の見通しが立っておらず、検討課題となっている。

NPO法人 わのわ会の評価

質問 わのわ会の活動は、安倍総理の施政方針で取り上げられたように、23の事業とサービースに拡大しているが、どのように評価しているか。

答弁 戸梶村長 村にとり、なくてはならないNPO法人だ。農業共済の建物は老朽化しており、エアコンや浄化槽など多額の改修費を要する。新たな事業展開に

日高中学校 プールの改築は

よる補助金を活用する方が有利ではないか。村としても、できる支援はしていきたい。

質問 中学校プール改築のスケジュールは、どのようになっているか。

答弁 吉岡教育長 今、設計の段階で、令和6年度に解体を行い、令和7年度に本体工事を実施する。



手狭となったわのわ会の施設

地域計画策定の 見通しは

質問 改正農業基盤強化促進法が4月1日に施行され、地域計画の策定が本格化する。職員の研修を含め、策定の見通しはどうか。

答弁 松本産業環境課長 県主催の研修会が7月行われる。今年度本郷モデル地区として策定し、その他の地区もアンケートや地元協議を実施する。令和6年度までに村全体を策定する予定。

インフラの 防災対策は

質問 関東大震災から100年を迎えた。橋梁や水道施設は地震などの自然災害に脆弱になりやすい。村道橋は心配ないか。水道管の法定耐用年数を超えた割合はどれだけか。また、政府は5カ年加速化対策で、基幹的な水道管の耐震適合率を54%以上にする目標を掲げたが、見通しはどうか。

答弁 前田建設課長 村道橋の点検を行い、対策が必要とされた11橋のすべてに措置が完了している。耐用年数を超える水道管は、今年度中に把握できるように委託している。耐震化率は17.7%で、5カ年では国の目標に届かないのではないかなと思われる。

いきいきインタビュー



NPO法人とかの 元気村の取り組み紹介

NPO法人とかの元気村は、平成17年に農業や環境だけでなく、他の地域活動

団体(5グループ、36団体)と連携し、地域のみんが住みやすく、元気で生き生きと暮らすため、住民お互いの共助で地域づくりを目指すNPO法人である。

会員数は165人、入会費千円、年会費千円と町からの集落活動センター他の指定管理料で運営されている。

主な活動として新年会、敬老会、たらふく秋祭りや環境保全、自然保護活動と「あったかふれあいセン



NPO法人とかの元気村の取り組みを紹介する吉森事務局長(中央)、森氏(右)

ターとかの」の独自事業で地域支援も行うなど、その活動は多岐にわたっている。農業関係では、直接支払交付金を活用した農地を守る取り組みや耕作放棄地をなくす取り組みなどが行わ

れている。

事務局長の吉森氏によれば、集落活動センターが地域の核となって、さらに住民交流を深めていくことで、この地域に住んでよかったと思えるようにしたいということであった。

わが日高村でも、このNPO法人をモデルとして、集落活動センターを作り、地域活性化を図っていくようにしなければならぬと、つくづく感じた。

(藤原)

「ぬくもり処」の 取り組み紹介

下分長山田にある「ぬくもり処」は、昨年4月に新設された集会所。

日頃から、地域老人クラブやサテライトサロン、福祉学習サポーター活動などに参加し、スキルを高め、「地域でつながり、支えあい、みんなが笑顔でいきいきと暮らせるコミュニティセンター」を目指し活動している。

毎週月曜日から金曜日

(祝日を除く)午前10時〜午後4時まで。夏季(7・8・9月は閉館)自治会員であれば、自由に利用可能。

生きがいある生活で楽しくフレイル予防「3つの柱」を掲げ、運動・栄養・社会参加を年間プログラムの軸に活動している。

運動は、百歳体操・サルコペニア予防体操・日高アプリ「まるけん」を利用しウォーキング。皆で誘い合い健康づくり。

栄養は、みんなで楽しく昼食会や食事会、料理教室を各行事に併せて楽しく行っている。

社会参加は、もへいピック・救命救急学習会・消火訓練等、行政が行う行事に積極的に参加。また、お肌もピカピカになる、美肌クラブも。館長さんは「ぬ



岡田館長による「ぬくもり処」の取り組みを紹介

くもり処の名称らしく、何でも話したくなるような優しい方です。コロナ禍の時は外出を控えた方も、これからは家に閉じこもらないで〜！」と、おっしゃっていました。

(西村)

各種団体と 意見交換を行いました



NPO法人

日高わのわ会

5月9日、議会改革特別委員会が、日高わのわ会の安岡千春事務局長と意見交換を行った。

わのわ会は、子育て中のお母さんたちが、「地域の困りごと」を解決できたらという思いからスタートした。

「できる人が、できる時間」に、できる事を「積み重ねて18年間、村の小さな困りごとの解決や、既存サービスの隙間を埋める活動をし、23の事業とサービスに拡大してきた。

令和2年に、あしたのまち・くらしづくり活動賞「内閣総理大臣賞」をはじめ、数々の表彰を受賞し、またメディアに取り上げられ、

わのわ会の活動は注目されている。

多くの事業を展開するに
は、施設が狭くなっている
こと、また継続的な運営を
していくには、
若い職員を雇用
することが課題
となっている。

委員会を中心
に課題に対し
て、何ができ
かを協議してい
きたいとして意
見交換会を終了
した。



意見交換後「わのわ会」の施設内を見学

民生児童委員

5月26日、民生児童委員16人と健康福祉課から1人の出席をいただき、意見交換会を開催した。

まず、委員会の概要や活動内容などの説明をいただき

き、その後、質問や要望を聞きました。

1. 委員の活動内容が多岐にわたっており、負担が多すぎる。活動の見直し、整理をしないと、なり手はいない。

2. ほぼボランティア団体だということは分かっているが、仕事を休んでまで動きにくい。活動費のアップを考えてもらいたい。

3. 動けるうちは働く。動けなくなったら即介護である。5年後は大変なことになるのでは。

4. 1人の民生委員が20人の担当をし

ある。

ているところがある。定員の検討をしてもらいたい。

この他にも、多くの意見や質問もいただいた。

議長から議会もできるだけ応援していきたいと答弁して閉会した。



民生児童委員との意見交換会で門田会長があいさつ



完成する新放水路に 期待する声

線状降水帯に
負けない日高村に



濱田隆広さん

過去の大水で2度トラクターやテラーを水没させ、野菜が半減しました。

日下川が増水し、長山田川が排出しにくくなり、長山田川がたまるのが原因です。住民は「これがたまるか」と嘆いていました。

日高養護学校入り口に住宅が増えたように、日高村の平地に住宅が建てれば、人口も増えると思います。日高村パイパスと共に第3放水路に期待しています。少しぐらいの線状降水帯に負けない日高村になると内外は大発信してください。

悲願の放水路建設に
感謝



谷本幸子さん

日高村は長い歴史の中、さまざまな水害に見舞われてきました。過去にわが家も床上浸水に2回遭い、大切な家財を失いました。

他の村民の方々も悲しい思いをしたことと思います。

大雨が降るたびに、水害の心配が絶えることがありませんでした。国道が浸かるたび、水中を歩いて避難所に行ったことを思い出します。水害の不安や恐怖を味わう経験の少ないことを思わずにはいられませんでした。

最近では、大きな被害はなかったものの床下浸水の害に遭いました。

日高村の台地に溜まった大量の水を排水する放水路の建設は悲願だったので、うれしく思っ

ています。

若い住民が増えてきている日高村に、大切な財産や命を失うことがないことを祈ると同時に、先日の大雨の時、遊水池の水位が上がらなかつたのは、放水路のおかげだと知り、建設に携わってくださった方々に感謝します。

JR線路下排水路の拡張 工事完成に感謝



大原喜幸さん

このたび新日下川放水路の竣工と支流のJR線路下排水路の拡張工事完成を終えて、水害地域の住民として安心安全な生活ができることに心より感謝いたします。

この両事業にご尽力いただいた関係者の皆様、誠にありがとうございました。

私は、15年ほど前に、日高村へ

仁淀川町より移住してきました

ので、日高村の洪水の歴史や、居住地区の水害状況について、全く無知でした。平成26年の水害では、床上浸水に遭い大変な思いをいたしました。

両工事の竣工で水害はなくなると思われまます。一方、今日の異常気象にどこまで対応できるかと危惧もしています。

日高村の村民となつて以来、役場をはじめ地域の皆様の温かい心遣いに感謝し、日々楽しく暮らしています。これからもどうかよろしくお願いいたします。

安心安全な防災対策



森下宗興さん

Uターンして、早12年ですが、帰ってきた頃は、2つの放水路しかなく大雨になると道路や田んぼが浸かり大変でした。

今年の春に第3放水路がで

き、安心安全な防災対策となりました。建設に尽力いただいた関係者等に感謝しています。

21世紀には

何をすべきか



松井通夫さん

日下川放水路が完成したのは、日高村に移住して間もないころだと記憶している。

数年前、岩目地の田んぼが水没し、その様子がテレビ報道された。多くの友人が、その報道を見て心配になり連絡してくれたこと記憶している。

日本においても、毎年大規模の災害があり、特に雨量関連の被害は甚大である。

世界的に起きている災害の原因は、地球の温暖化である。地球もひとつの生命を持って生まれ、た生命体とすれば、人と同じように命に限りがあると思う。地

球の誕生から現在まで、気の遠くなるような年月が流れている。この間、人は自然界を開発し人類の発展に貢献してきた半面、負の遺産も蓄積してきた。21世紀に生きる人として今、何をすべきか問われているように思う。私にとっての放水路は、そんな思いを問いかけてくれる。

日高村の人口増に 期待



村の駅ひだか
駅長 朝日雄志郎さん

平成26年8月の台風では「村の駅ひだか」建設中で、建築資材は流され、仮設店舗は腰のあたりまで浸水し、泥をかき出し消毒をして、営業をするまでに1週間かかりました。建設中の「村の駅ひだか」のエアコンの室外機も1m以上かさ上げしてもらいました。

それ以降は、幸いにも水害の被

害はありませんでしたが、大雨のたびに不安になり、何度も川の水位を見に行っていました。

第3放水路の運用が始まり、いきなり大雨になりましたが、日下川の水位は一定に保たれていて、ほっとしました。

今後、水害の心配もなくなり日高村の交流人口の拠点となるような「村の駅ひだか」の施設にしていきたいです。

水害の心配がなくなれば、農業被害もなくなり、新たな企業誘致や宅地の造成によって日高村の人口増に期待します。

子どもや孫たちの世代まで安心・安全の日高村に



氏原美代子さん

平成26年、この日はものすごく雨が降っていた。仕事が朝9時に終わり、高知市内でも、側溝

から水が噴き出ていた。

家では2匹の猫と犬がいるので、絶対帰ると思い高知市の職場から車で枝川まで帰ってきたが、道路が冠水していた。歩いて午後4時頃、やっと日高まで戻り避難所へ。午後9時ごろ水が引いてきた。島根県より四国旅行にきている家族が帰る便で、枝川に駐車していた車を避難所へ乗ってくる事ができた。

翌朝、帰宅し玄関を開けるとビックリした。1階は全滅。猫と犬は大丈夫だったので安心した。

第3放水路の完成は喜びでいっぱいです。私は放水路建設の宿舎で、2年間働かせていただき、皆様の夏の暑さや冬の大変さを目の当たりにしてきました。大変なご苦労もあり、従業員の方々に深く感謝いたします。子どもや孫たちの世代まで安心・安全の日高村にと願っています。

安心する喜びと

ともに



尾崎鈴恵さん(右)と嫁

朝からの大雨で、県道が先に浸かり、国道に水が行くまでものすごく速く、岸からも水が噴き出ていた。「危ない」と思い、店のあらゆる物は高い所に上げ、午前中に車で息子と保育園まで行き避難した。

主人はひとりです。自宅にいたが、夜、水が、いつ、どこまで来るか分からないので、一人はやっぱり怖かったそうだ。

次の日、店には60cm位の水位の後があった。後片付けをし、今回は、水の速さと雨粒の異常な大きさに自然の脅威を感じた。想定外のこと起こることもあるので、早めの避難と備えを肝に銘じた。

浸水被害が

出ないことを期待して帰村



片岡正寛さん

今まで大雨が降ると、いつも怖い思いをしていましたが、皆様のご尽力により、第3の放水路が完成し、安心する喜びとともに、建設に関わっていただいた皆様に感謝いたします。

私は、平成26年の春に義母と暮らすため、沖名の妻の実家へ引っ越してきました。その年の8月、台風12号、11号の影響で2回とも床上浸水しました。特に8月3日の台風12号のときは忘れられません。

当日、私と息子は東京で不在。娘は寮生活のため、家には妻と義母の2人だけ。妻から送られてくる悲痛なメールの内容から浸水の深刻さを感じ取りま



坂東親憲さん

水の引きようが

全然早い

した。
 帰宅してみると、まだ冷蔵庫等は浮いている状態でした。後片付けも大変でした。それからというもの大雨のたびに浸水の心配をしていました。
 仕事の都合で、5年間、須崎市に住んでいました。新日下川放水路工事の話聞き、浸水被害が出ないことを期待して、昨年4月に日高村に帰ってきました。完成した放水路呑口部の日下川と戸梶川の合流点の工夫や広さに感心しています。
 完成を見ることなく昨年末に亡くなった義母も、浸水で苦しんだ方、子や孫が大雨でも安心して眠れると安堵していることでしょう。



正岡美知男さん

何回浸かったか 分からん

トマトハウスは、昭和50年、51年の台風の前にも、しょっちゅう浸かりよったし、年に2〜3回浸かったこともある。秋は定植前が多かったし、春は梅雨前によく浸かりよった。けんどもマトは最後まで取った。

昭和50年の台風で床上2m、昭和51年の台風で床上1.5mと2年連続で浸かった。家財道具はまだ若かったので2階へ何とかあげたけんども、もう年がいつて無理や。
 2本目の放水トンネルができてからも9年前やったと思うけんども、床上50cm浸かった。3本目ができたけんども大丈夫やろ、水の引きようが前と比べて全然早い。ちょっと安心しちゅう。



門田晃和さん

浸からんことを祈る

平成19年に不動産屋にここは浸からんと言われて、引越してきてたけんども、平成26年8月に台風12号、その後台風11号で2回続けて浸かった。
 2本目の放水トンネルができてからも、床上25cm来た。店は土間から65cm上がった。3本目ができたけんども、仁淀川の水位が上がったらどうなるか。線状降水帯がどこにできるかわからんし、浸からんことを祈るだけじゃ。

3本目ができたので、田んぼが浸かることはゼロではないと思うけんども、水位は困るほど上がらないのでは。
 沖名まで見に行ったけんども、引きようがすごかった。もう大丈夫じゃろ。



議
会
日
誌

議
会
日
誌

- 4/3 仁淀川改修期成同盟会監査
尾崎議長

21 議会改革特別委員会
池田・藤原
森下(雅)
横山・西村
- 5 議会改革特別委員会
池田・藤原
森下(雅)
横山・西村
尾崎議長

23 行政連絡会
池田欠席
- 7 佐川高校入学式
尾崎議長

25 高知県森と緑の会
日高村支部総会
尾崎議長
- 12 議会広報発行調査特別委員会
藤原・西村
森下(芳)・池田
尾崎議長

26 高岡郡町村監査委員協議会総会
森下(雅)
- 18 議会改革特別委員会
池田・藤原
森下(雅)
横山・西村
尾崎議長

27 全員協議会
- 19 議会広報発行調査特別委員会(取材)
藤原・西村

28 例月現金出納検査
森下(雅)
- 5/9 日高わのわ会と議会改革特別委員会との懇談会
池田・藤原
森下(雅)
横山・西村
尾崎議長

22 例月現金出納検査
森下(雅)
- 26 民生児童委員と議会議員との懇談会
全議員

23 全国町村議会議長副議長研修会
尾崎議長・池田
- 25 日高村福祉館運営審議会
尾崎議長・山中

24 地球温暖化対策実行計画推進協議会
大川内
- 26 高知県町村監査委員研修会
森下(雅)

29 経済建設厚生常任委員会
大川内・山中
尾崎・横山・西村
- 23 議会広報発行調査特別委員会
藤原・西村・野村
森下(芳)・池田
尾崎議長

6/1 議会運営委員会
森下(雅)
大川内・横山
池田・山中
尾崎議長
- 22 さくら咲くプロジェクト
森下(芳)・藤原
大川内・西村

8/15 振興対策特別委員会
池田・西村・横山
山中・大川内
尾崎議長
- 21 例月現金出納検査
森下(雅)

10 国道33号越知道路バイパス区間開通式
尾崎議長
- 20 議会広報発行調査特別委員会
藤原・西村・野村
森下(芳)・池田
尾崎議長

16 日高村佐川町学校組合議会
尾崎議長・藤原
- 22 日高村人権教育協議会総会
池田副議長

6/1 議会運営委員会
森下(雅)
大川内・横山
池田・山中
尾崎議長
- 23 高知県町村議会議長会臨時総会
尾崎議長

8/15 日高村議会第2回定例会

30

国道33号整備促進
期成同盟会総会
尾崎議長

29

国道33号整備促進
期成同盟会高知県
協議会総会
尾崎議長

26

中央西部焼却事務
組合議会
藤原・西村

横山・山中

25

「まき」さんの道の
駅・佐川」開駅式典
尾崎議長

トピックス



高知県町村議会議長会臨時総会で新役員が選任された

尾崎政廣議長

高幡町村議会議長会会長
高知県町村議会議長会副会長に就任

5月17日開催の高幡町村議会議長会の定期総会におきまして、尾崎政廣議長が会長に就任しました。

また6月23日開催の高知県町村議会議長会臨時総会で副会長に就任しました。

令和5年度全国町村議会議長・副議長研修会に参加して

5月23日に全国町村議会議長・副議長研修会が東京で開催された。日高村からは尾崎議長、池田副議長、青木事務局長が参加した。大正大学の江藤教授からは「町村議会の課題と今後の展望について」と題して、①政治劣化のV字回復を②議会改革第2ステージ③議会改革を進める風が吹いている④議員のなり手不足等について講演があった。

また、NPO法人ブロードバンドスクールの若宮氏からは国連調査で「幸せな国ランキング2位」のデンマークの取り組みを中心に、電子政府を紹介し、政府や国民相互の信頼関係の重要性について、最後に朝日新聞コンテンツ編成部の三島氏からは「地方議会とハラスメント」と題して、これまでに確認されたさまざまなハラスメントを紹介して、知らず知らずに犯してしまうハラスメントがあることを自覚することの重要性について、指摘があった。会場には1,200人を超える参加があり、研修を行った。



東京国際フォーラムで開催した町村議会議長・副議長研修会

編集後記

庁舎が新しくなって「役場よくなったね」と皆さんから喜びの声が聞こえてきました。

また30年を超える水との闘いに、第3の放水路の完成によって終止符が打たれようとしています。度重なる災害を乗り越えてきた先人の業績を引き継いで頑張つていきます。

議会も多くの議員が質問に立ち、皆さんの要求を届けています。

議員は、村の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただして、村長に対して所信の表明を求めることができます。

質問には、一般質問と緊急質問があります。一般質問は、村の一般事務について行い、議長の許可を得て定例会にて行われます。

緊急質問とは「緊急を要するとき、その他真にやむを得ないと認められるとき」議会の同意を得て行

う質問で、定例会でも臨時会でもできます。

議員は、村の重要な意思を決定し、村民に代わって行財政の運営を監視する議会の構成員であります。

歴史に学び、歴史をつくる議員に、皆さんと力を合わせ頑張ります。

(野村)



間近でトンボを観察(渋川とんぼ観察会)

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は9月7日(木)午前10時に開会の予定です。

お気軽に傍聴に、お越しください。

議会広報発行調査特別委員会へのご意見・ご提言等を、よろしくお願い申し上げます。

発行責任者

議長 尾崎 政廣

「日高村議会だより」は、資源保護のため再生紙を使用しています。